



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 2025年度 第2四半期 決算説明会資料

2025年11月11日  
株式会社UACJ



# 2025年度上期 決算概況

前提条件	FY24 上期	FY25 上期	期初 予測	通期 最新	単位
LME	2,451	2,532	2,500	2,666	\$/t
為替レート	153	146	145	148	円/\$
	35.7	32.7	34.5	32.6	THB/\$
ドバイ原油	82	69	80	67	\$/bbl

## 2025年度上期 業績

販売数量は増加、事業利益は市況等の影響で伸び悩み

(億円)	前年同期 実績	実績	前年同期比
販売数量(千t)	633	663	30
売上収益	4,871	5,401	530
事業利益*1	300	169	△ 131
最終利益*2	167	74	△ 93
Adjusted EBITDA*3	487	362	△ 125

- 上期事業環境
  - 原材料価格の高止まりが収益に影響
  - 為替の変動により収益が減少(パーツ高ドル安)
  - 1Qの一過性要因\*5の解消を含め、2Qから回復傾向
- グローバルでの缶材需要、特に北米の需要が好調に推移

## 2025年度 業績予想

通期では事業利益を挽回 最終利益、配当金見通しを上方修正

(億円)	2025/5/13公表	最新見通し	差異
販売数量(千t)	1,351	1,347	△ 4
売上収益	10,400	11,000	600
事業利益	460	460	0
最終利益	200	230	30
Adjusted EBITDA	855	855	0
年間配当金(円/株)*4	40	42	2

- 下期事業環境
  - (国内)価格改定効果の発現、品種構成の変化
  - (TAA\*6)リサイクル原料調達のコストメリット
  - (UATH\*7)価格改定効果の発現、為替変動(パーツ高ドル安)の影響
- 最終利益を230億円へ上方修正
- 年間配当金見通しを、42円/株(5月公表比+2円)へ上方修正

\*1 事業利益: 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの

\*2 最終利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益

\*3 Adjusted EBITDA: EBITDA - 棚卸資産影響等

\*4 当会計年度期首に株式分割が行われたと仮定して算定

\*5 在庫コストと地金調達の時期ずれ

\*6 TAA: Tri-Arrows Aluminum Inc.

\*7 UATH: UACJ (Thailand) Co., Ltd

- 1. 2025年度 上期業績**
- 2. 2025年度 業績予想**
- 3. 企業価値の向上に向けた取り組み**
- 4. ご参考**

# 1. 2025年度 上期業績



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

1. 業績

# 上期 業績

(単位: 億円)

	2024年度 上期 (A)	2025年度 上期 (B)	増 減 (B) - (A)
売上収益	4,871	5,401	530
事業利益	300	169	△ 131
棚卸資産影響等	57	57	0
営業利益	357	226	△ 131
最終利益	167	74	△ 93
1株あたり当期利益 (円 / 株)*	86.6	40.7	△ 45.9
Adjusted EBITDA	487	362	△ 125
前提条件			
LME (\$/t)	2,451	2,532	81
為替レート (円 / \$)	153	146	△ 7
為替レート (THB / \$)	35.7	32.7	△ 3.0
ドバイ原油 (\$/bbl)	82	69	△ 13

\* 前会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定

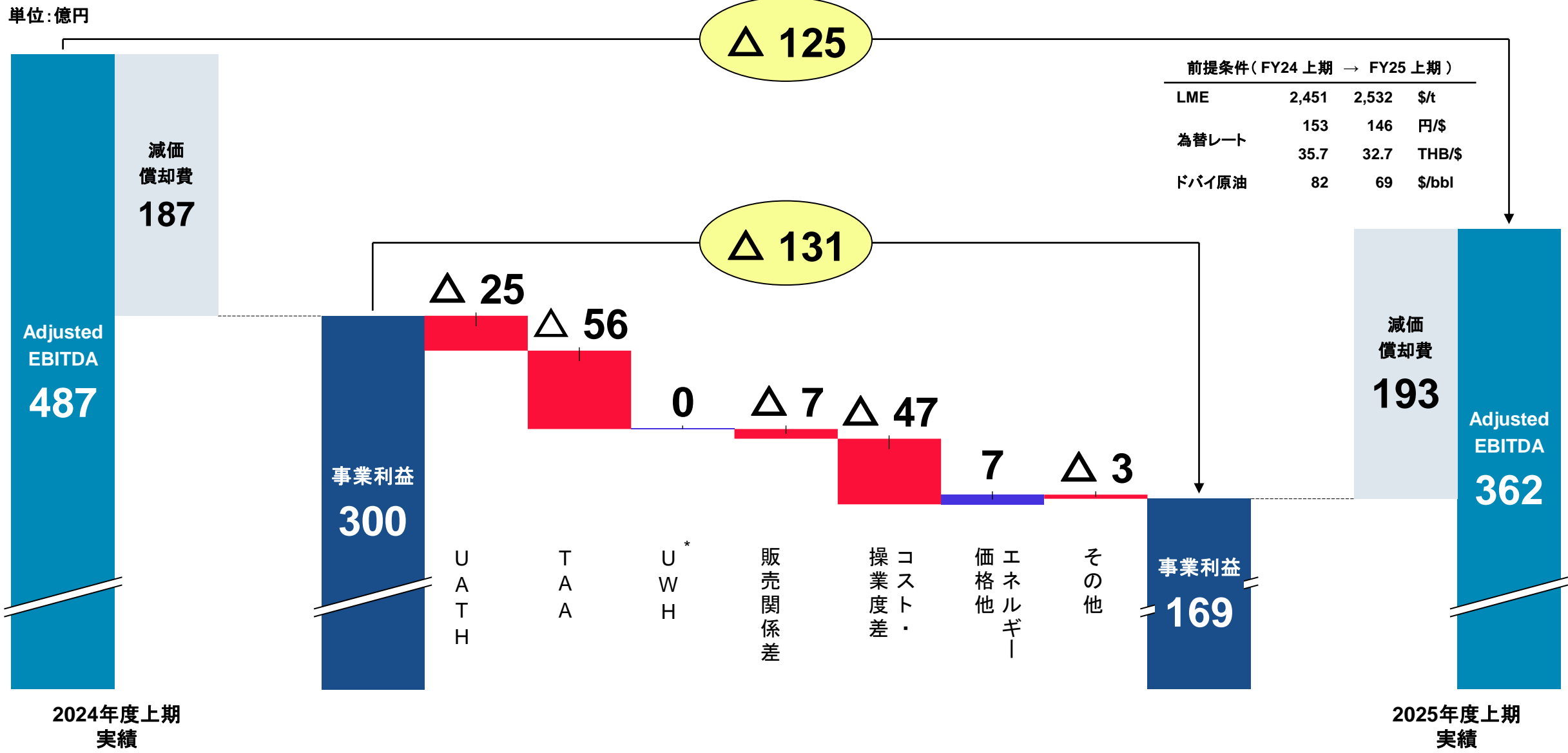
アルミ板 品種別売上数量

(単位: 千t)

品種	2024年度 上期 (A)	2025年度 上期 (B)	増減 (B)-(A)
缶材*	428	456	28
箔地	21	22	1
IT材	5	6	1
自動車材	68	66	△ 2
厚板	21	17	△ 4
その他一般材	90	96	6
合計	633	663	30
日本市場	250	238	△ 12
海外市場	383	425	42

# 1. 業績

## 事業利益・Adjusted EBITDA 分析 (2024年度上期 → 2025年度上期)



## 連結財政状態計算書

	25/3末 (A)	25/9末 (B)	増減額 (B-A)
現金及び現金同等	263	240	△23
営業債権及びその他の債権	1,873	1,908	35
棚卸資産	2,441	2,582	141
その他の流動資産	218	301	83
有形固定資産	3,943	4,066	122
その他の非流動資産	961	958	△3
資産合計	9,700	10,055	355
営業債務及びその他の債務	1,406	1,464	58
借入金	3,407	3,658	251
その他	1,691	1,646	△45
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,906	2,976	70
非支配持分	290	311	22
負債及び資本合計	9,700	10,055	355

アルミ地金等  
価格上昇による影響

福井:  
UBC加工処理設備増設

深谷:  
厚板焼入れ炉増設

TAA:  
スクラップ処理ライン増設



1. 業績

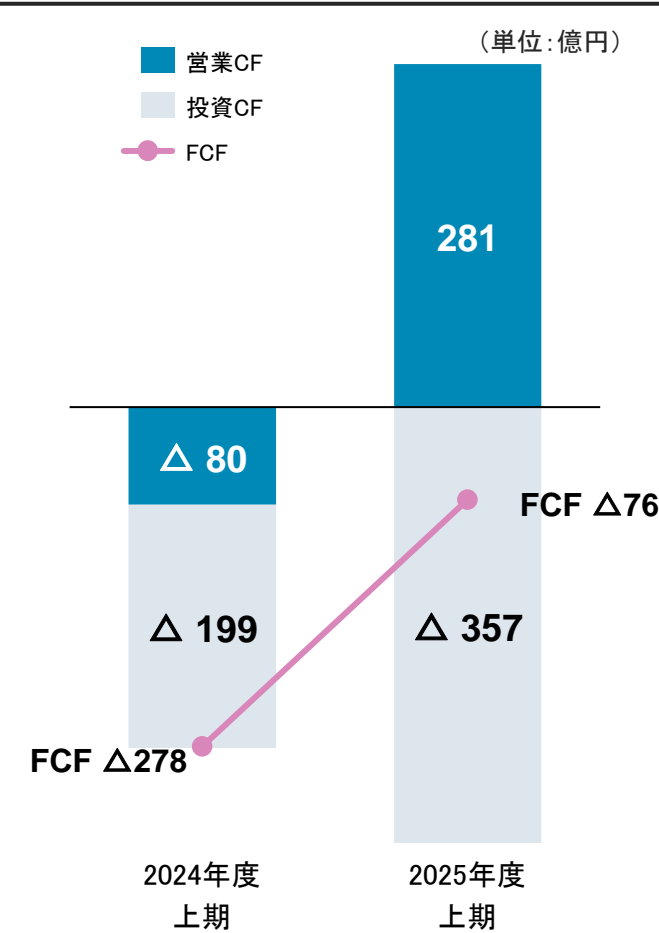
# 連結キャッシュ・フロー計算書

## 2025年度末D/Eレシオ 中計目標の1.0倍未満を堅持

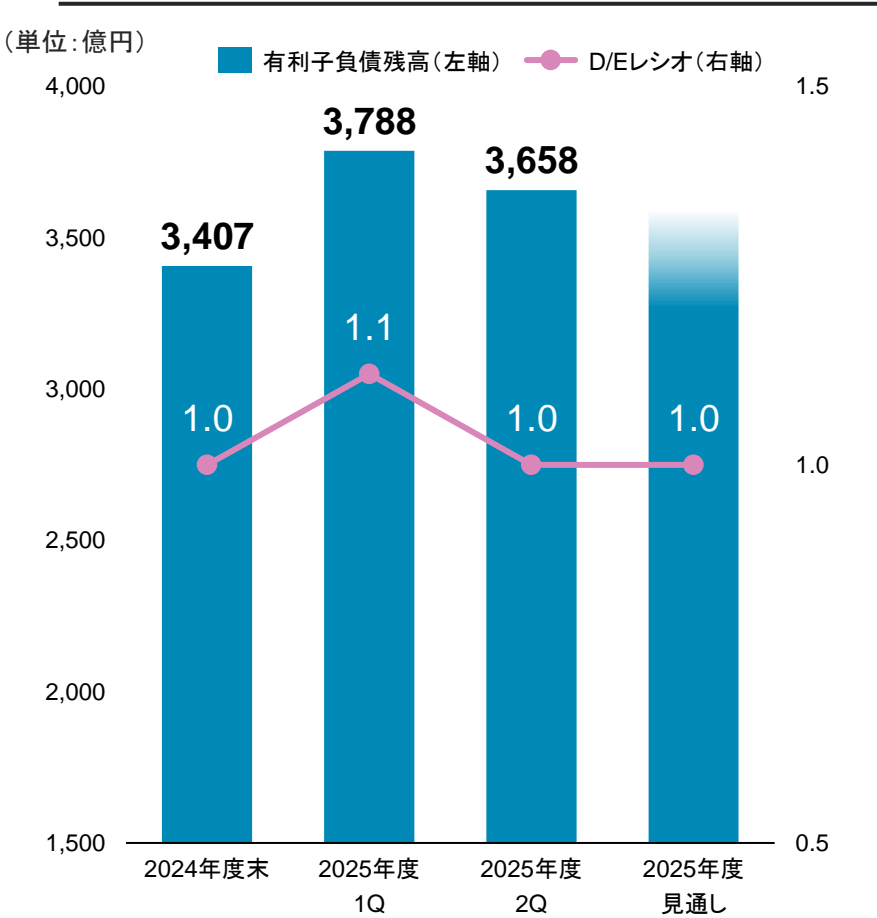
連結キャッシュ・フロー

	(単位: 億円)	
	2024年度 上期	2025年度 上期
税引前利益	260	145
減価償却費	187	193
債権債務増減他	△ 527	△ 58
営業キャッシュ・フロー計	△ 80	281
設備投資 他	△ 199	△ 357
フリーキャッシュ・フロー	△278	△ 76
ファイナンススキーム・配当他	17	△172
現預金増減(△は増加)	94	23
外貨建借入金換算差(△は増加)	13	△25
有利子負債(△は増加)	△ 155	△ 251

連結キャッシュ・フロー 推移



有利子負債残高・D/Eレシオ\*



\* D/Eレシオは劣後ローンの資本性を考慮

タイ(UATH)の状況

為替影響を受けるも、販売は堅調な環境続く

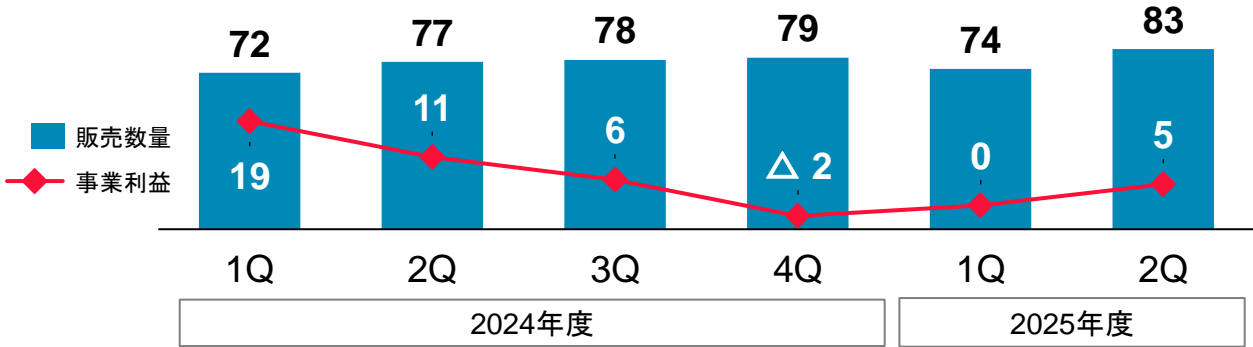
上期総括

- 需要 : ・ グローバル缶材の需要は想定通り拡大
- 販売 : 【北米向け】
- ・ 関税の影響はあるも、計画通りの出荷が継続
- 【ASEAN・その他地域】
- ・ 価格改定を実施(中国増値税還付の廃止影響)
  - ・ 新規取引顧客の拡大推進
- 損益 : ・ 価格改定効果が徐々に発現
- ・ 堅調な販売が継続するも、為替影響により収益圧迫

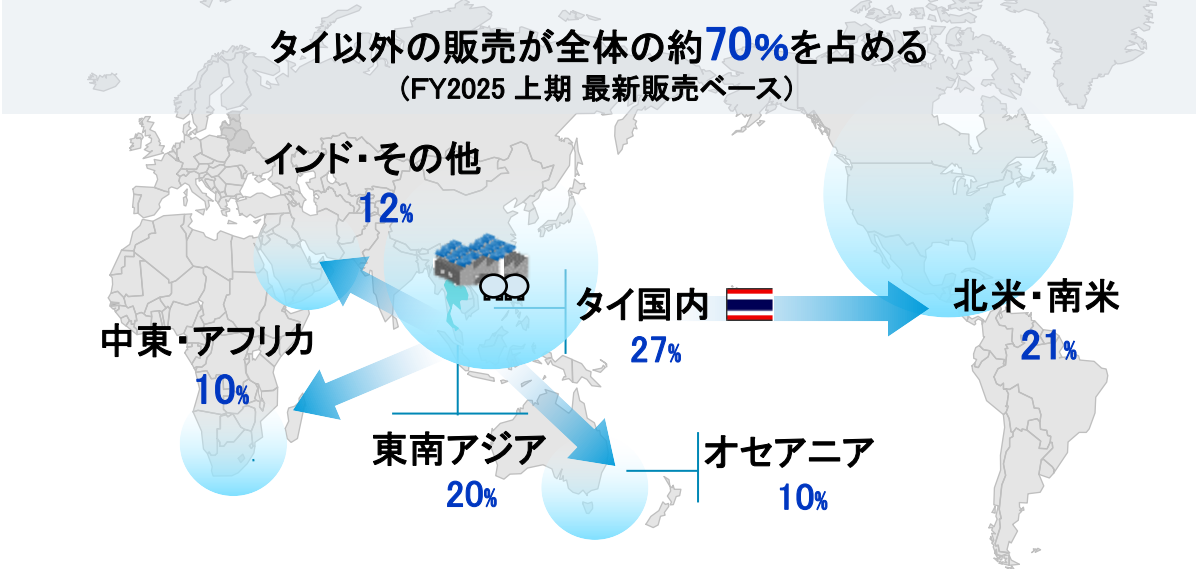
(単位: 億円)	24年度 上期	25年度 上期	前年同期比
販売数量(千t)*	149	157	8
売上収益	947	992	45
営業利益	59	△ 20	△ 79
事業利益	30	5	△ 25

\*TAAへの出荷分含む  
© UACJ Corporation. All rights reserved. ※2024年度からの業績推移はP31をご参照ください。

販売数量(千t)・事業利益(億円)推移



エリア別の販売比率(世界33カ国)



1. 業績

# 米国(TAA)の状況

## 旺盛な缶材需要を背景に、販売数量が計画を上回る

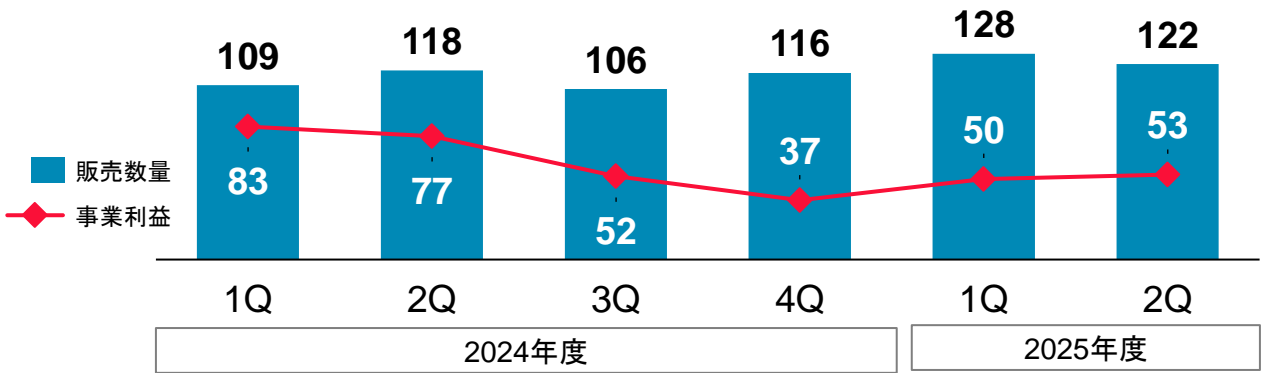
### 上期総括

- 需要 : ・ 米国缶材需要は想定通りの拡大傾向を示す
- 生産 : ・ 高水準での生産が継続
- ・ さらなる生産効率化に向けた設備増強投資は順調に進捗
- 販売 : ・ 安定した生産体制の構築により、販売の好調が継続

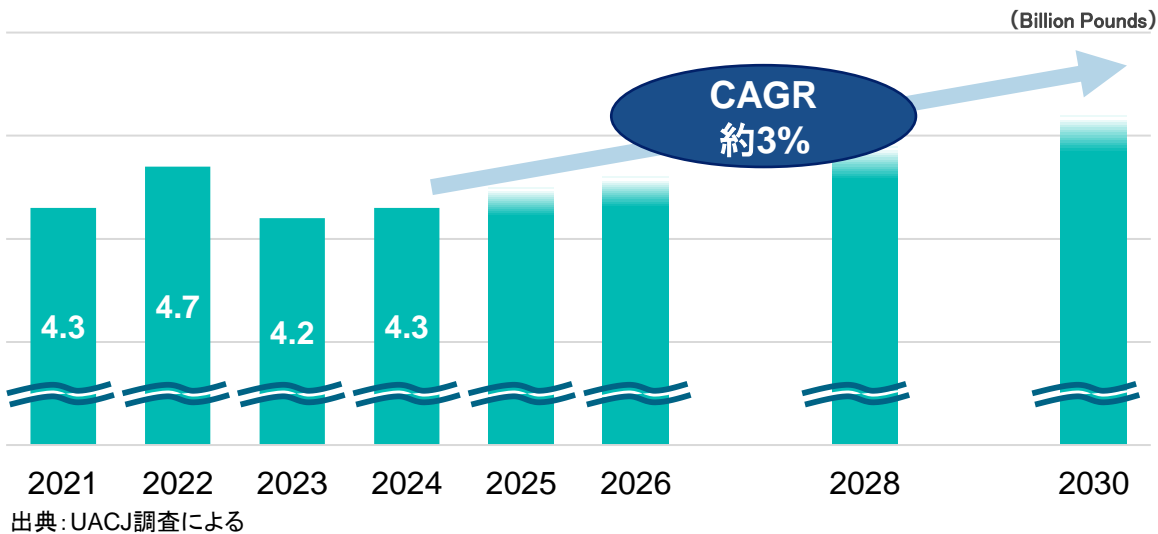
(単位: 億円)	24年度 上期	25年度 上期	前年同期比
販売数量(千t)	227	250	23
売上収益	1,434	1,797	363
営業利益	181	192	11
事業利益	160	103	△ 56

※2024年度からの業績推移はP31をご参照ください。

### 販売数量(千t)・事業利益(億円)推移



### 米国缶材需要の推移



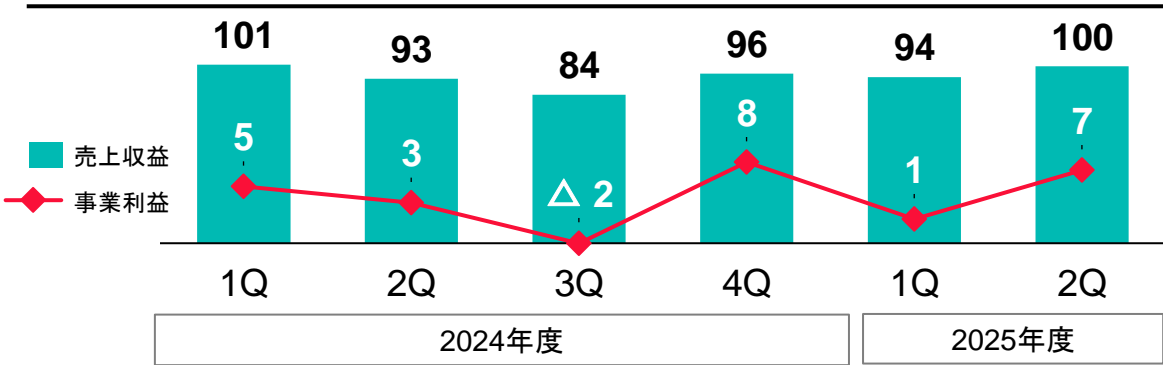
2024年度上期並みの実績で着地

上期総括

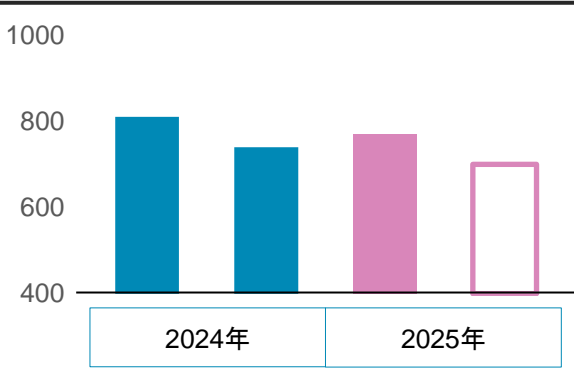
- 事業環境
- ・ 米国関税政策の転換から、自動車産業の不透明さ拡大
  - ・ 2025年9月30日で、EV購入の税制優遇制度が終了
- 販売
- ・ 日系OEMへの販売は順調に進捗
  - ・ EV購入者に向けた税制優遇制度終了前の駆け込み需要
- 損益
- ・ 販売増による収益確保
  - ・ コストダウン施策等の徹底を継続

(単位: 億円)	24年度 上期	25年度 上期	前年同期比
売上収益	195	194	△ 1
営業利益	6	6	0
事業利益	8	8	0

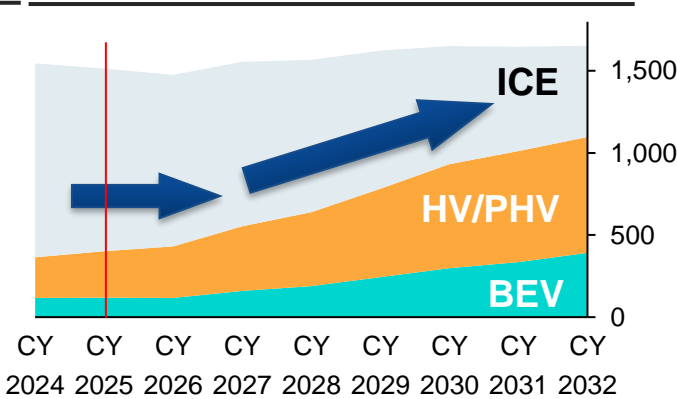
売上収益、事業利益推移(億円)



北米 自動車生産台数予測推移  
(万台)



パワートレイン別の  
北米市場生産台数変化(万台)



北米の自動車生産台数は直近では右肩下がり～横ばいの見通し  
中長期的には増加に転じ、BEV、HV/PHVの割合が増える予測

※2024年度からの業績推移はP31をご参照ください。

## 2. 2025年度 業績予想

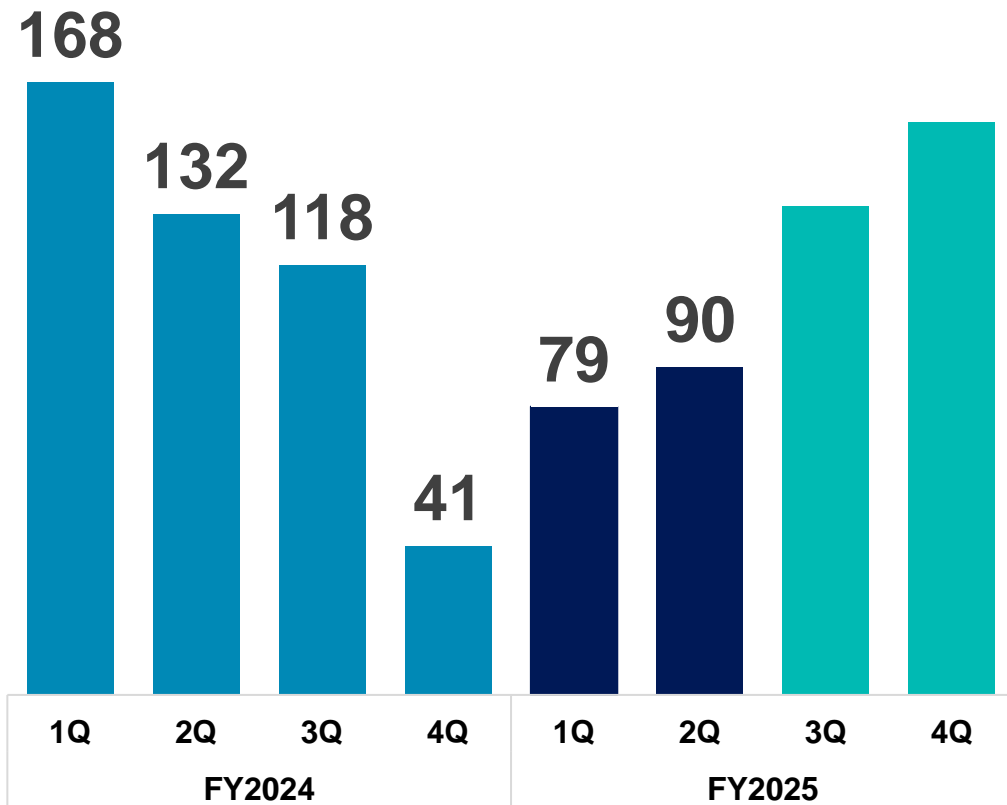


*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

## 2025年度 事業利益見通し

事業環境の不透明感はあるものの、事業利益は計画通り460億円

### 四半期事業利益推移(億円)



### 事業環境認識

青字: ポジティブ影響  
赤字: ネガティブ影響

- グローバルでのアルミ缶材需要は堅調に推移
- 価格改定効果が段階的に発現
- 航空宇宙・防衛材事業は計画通りに立ち上げ中
- 日本・東南アジアにおいて調達する**原材料価格の高止まり**
- **為替の変動**による影響(パーツ高ドル安)
- BEVの生産動向を注視

### 直近のトピックス

- 米国関税政策からの影響  
⇒ UACJグループへの直接の影響は期初想定より変更はないが、今後の動向を注視する
- サプライチェーンの混乱  
⇒ サプライチェーン上の混乱から、UACJグループが受ける影響は軽微

2025年度下期の事業環境のポイント

青字：ポジティブ影響  
赤字：ネガティブ影響

	日 本		北 米		東南アジア・その他地域		
需要動向	飲料缶市場	堅調	飲料缶市場	需要予測に変化はなく、 <b>年率3%での成長</b> を見込む	飲料缶市場	東南アジア域は拡大傾向 欧州向けは堅調	
	半導体製造装置	<b>厚板の需要回復遅延</b>	自動車市場	今後のBEVの生産動向を注視			
	建築材等	<b>弱含み</b>					
サプライチェーンの影響	缶材	需要家のシステム障害による影響は限定的	缶材	北米圧延メーカーの生産障害による影響は限定的	缶材	北米圧延メーカーの生産障害により、 <b>追加受注</b> あり	
	自動車材	北米圧延メーカーの生産障害により、 <b>米国向け出荷が追加</b>	自動車部品	半導体の供給不安により完成車生産に不透明感あり			
	自動車関連材	米国関税影響や半導体の供給不安により完成車生産に不透明感あり					
販売・利益	<ul style="list-style-type: none"><li><b>価格改定効果の発現</b></li><li>輸出量増加により品種構成が変化</li><li><b>原材料価格高騰の影響</b>を受ける</li></ul>		缶材	長期的な顧客との信頼関係をベースに、 <b>持続的な販売契約</b> を獲得	<ul style="list-style-type: none"><li>中国メーカーの販売攻勢は強力であるも、落ち着きつつある</li><li><b>契約更改時の価格改定交渉</b>を継続</li><li><b>原材料価格の高騰や為替変動の影響</b>を受ける</li></ul>		
			缶材	<b>リサイクル原料のコストメリットが発現</b>			
			自動車部品	IRA*に基づくEV購入の税額控除が終了し、上期は駆け込み需要、下期の動向を注視			

2025年度 通期業績見通し

通期前提条件				
	FY24 実績	FY25 通期 (5月)	FY25 最新	
LME	2,526	2,500	2,666	\$/t
為替レート	153	145	148	円/\$
	34.9	34.5	32.6	THB/\$
ドバイ原油	78	80	67	\$/B

事業利益は計画通り460億円、最終利益・配当見通しを上方修正

(単位: 億円)	2024年度 実績 (A)	2025年度見通し 5月時点 (B)	2025年度見通し 最新 (C)	増減 (C) - (A)	増減 (C) - (B)
売上収益	9,988	10,400	11,000	1,012	600
事業利益	459	460	460	1	0
棚卸資産影響等	115	△ 10	90	△ 25	100
営業利益	574	450	550	△ 24	100
親会社の所有者に帰属する当期利益	280	200	230	△ 50	30
1株あたり当期純利益 (円/株)*	146.5	110.5	127.0	△ 19.4	16.5
Adjusted EBITDA	840	855	855	15	0
年間配当	37.5円/株	40.0円/株	42.0円/株	4.5円/株	2.0円/株

\* 前会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定  
© UACJ Corporation. All rights reserved.



アルミ板 品種別売上数量

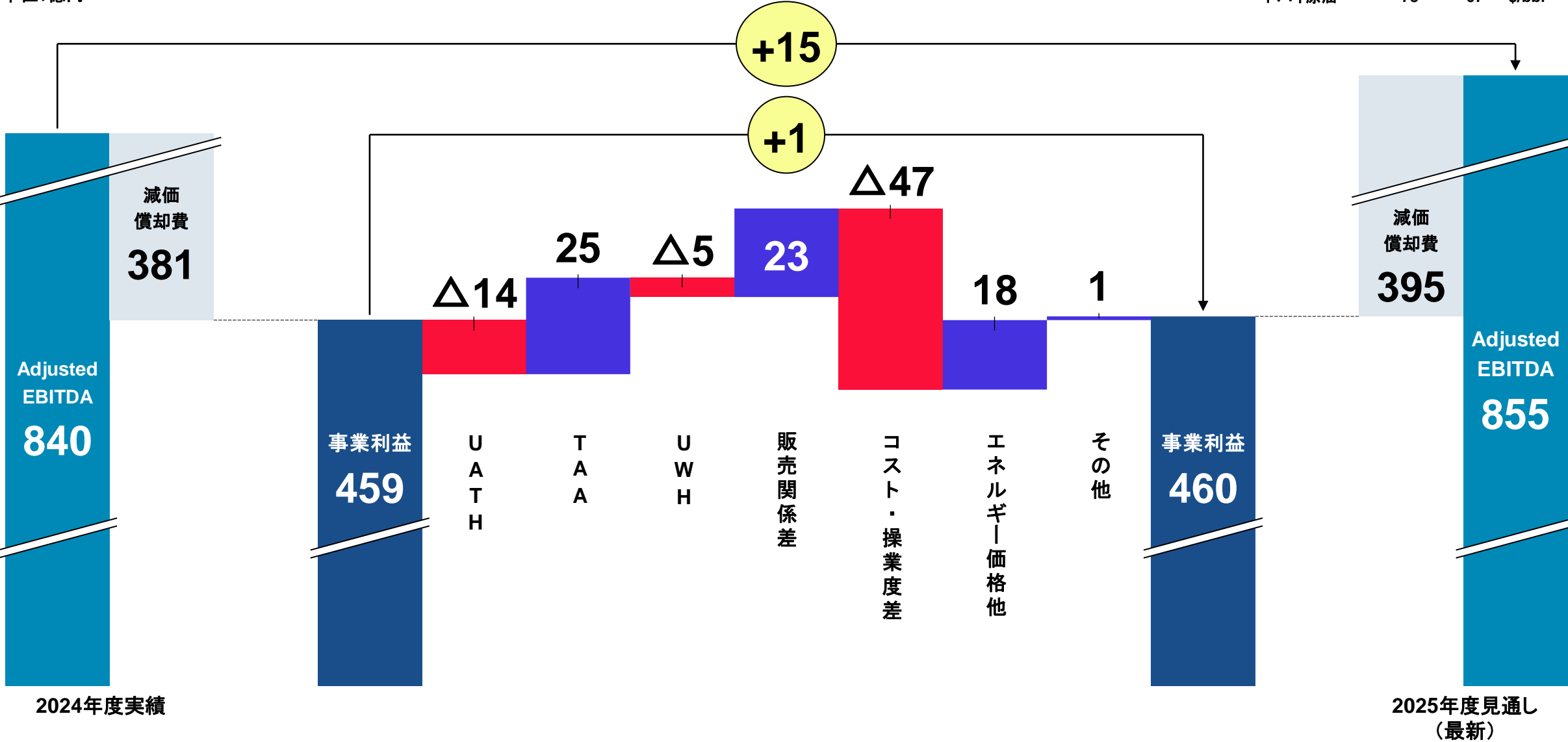
(単位:千トン)

品種	2024年度 実績(A)	2025年見通し 5月時点(B)	2025年度見通し 最新(C)	増減 (C)-(A)	増減 (C)-(B)
缶材*	851	928	927	76	△ 1
箔地	42	42	41	△ 1	△ 1
IT材	10	11	15	5	4
自動車材	134	136	137	3	1
厚板	42	47	38	△ 4	△ 9
その他一般材	187	187	188	1	1
合計	1,266	1,351	1,347	81	△ 4
国内市場向け	489	490	479	△ 10	△ 11
海外市場向け	777	861	868	91	7

事業利益分析（2024年度 → 2025年度最新見通し）

通期前提条件 (FY24 → FY25最新)			
LME	2,526	2,666	\$/t
為替レート	153	148	円/\$
	34.9	32.6	THB/\$
ドバイ原油	78	67	\$/bbl

単位: 億円



株主還元方針

年間配当金見通しを 42円 に上方修正

第4次中期経営計画期間 還元方針

安定的かつ継続的な配当を目指す

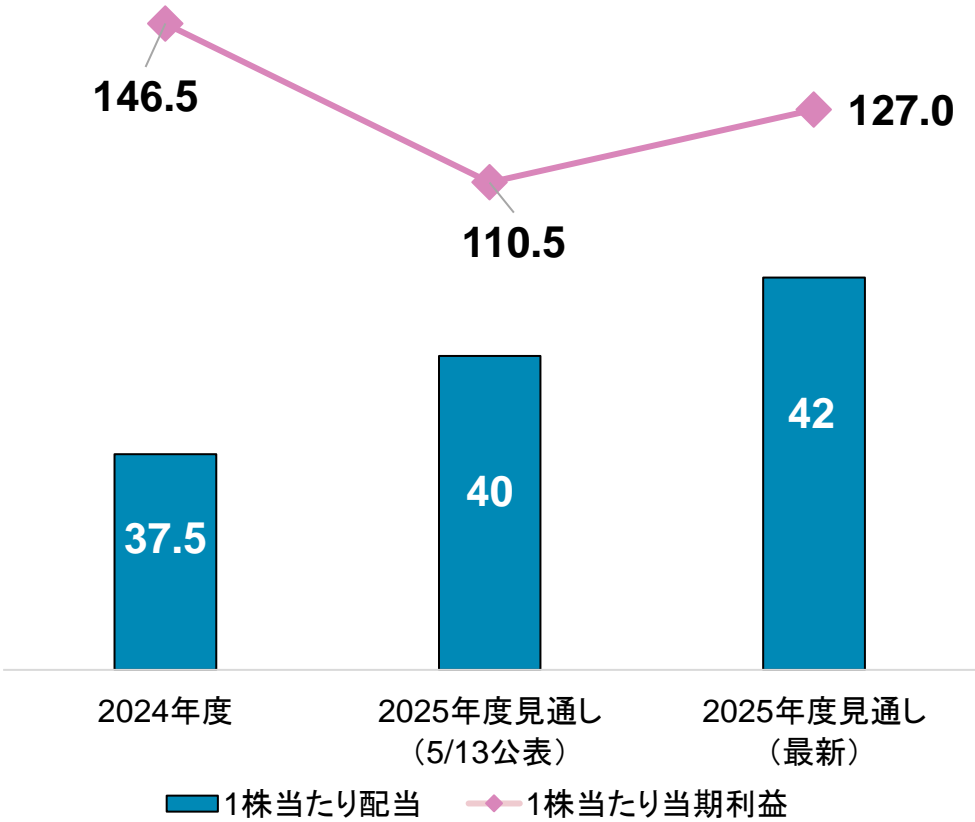
⇒第4次中期経営計画(24~27年度)期間中の  
配当性向は最終利益の30%以上が目途

	2024年度	2025年度見通し (最新)
最終利益	280億円	230億円
年間配当	37.5円/株	42円/株
配当性向	25.6%	33.1%
自己株式 取得	(2025年2月) 300万株/151億円	-

前会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定

1株当たり配当/1株当たり当期利益

(単位:円)



### 3. 企業価値の向上



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

## 格付A格を取得、β値<sup>\*1</sup>の改善により資本コスト低減

### 株式価値最大化に向けて（第4次中計にて公表）

#### ROEの改善（目標9%以上）

- 事業利益目標：600億円
- ROIC目標：9%以上
- 価値創造プロセス
- 事業戦略
- 成長シナリオ

#### エクイティ・スプレッド

1%以上に拡大

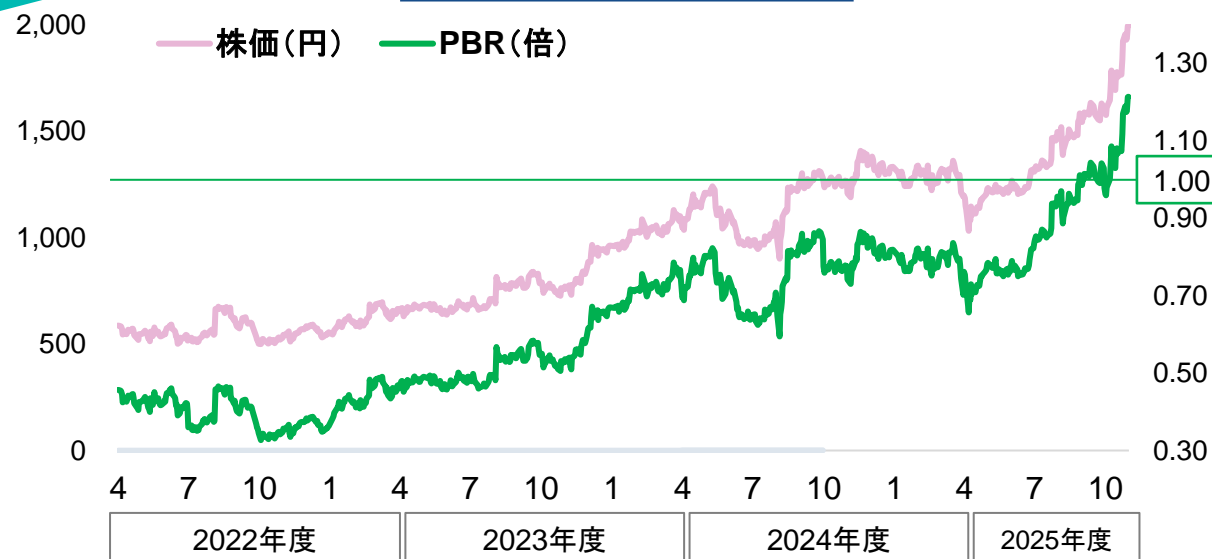
**PBR<sup>\*2</sup> 1.21倍**

株式価値最大化  
(PBR1.0倍以上)

#### 資本コスト低減（目標7%台） 期待成長率の引き上げ

- 最適資本構成の実現  
⇒ 格付A格の確保
- 配当性向30%以上
- サステナブルな事業戦略の策定
- 非財務分野での価値創出
- 情報開示、エンゲージメント強化

#### 株価・PBRの推移

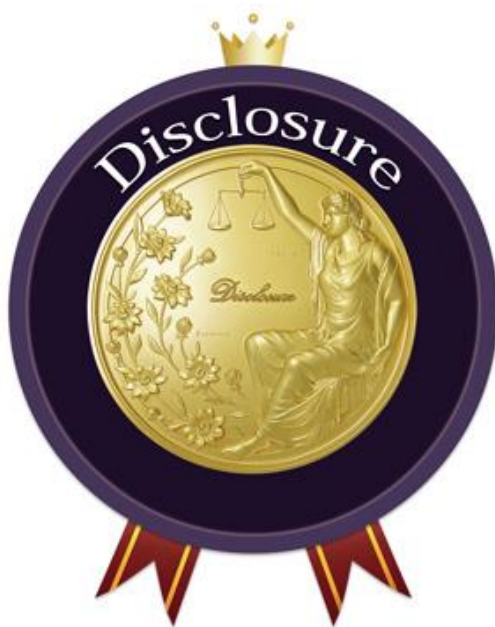


\*1 β値出典：SPEEDA Levered β(5年週次)

\*2 PBR = 時価総額(2025年10月31日終値)／親会社の所有者に帰属する持分(2025年9月末)

## 資本市場との対話

ディスクロージャー  
2025年度 優良企業



**SAAJ** 公益社団法人  
日本証券アナリスト協会  
The Securities Analysts Association of Japan

### 「ディスクロージャー優良企業(2025年度)」 鉄鋼・非鉄金属部門で2年連続1位獲得

当社は、

- 経営陣のIR姿勢
- 経営陣のESGに対する取り組み姿勢

の項目において高い評価をいただき、

ディスクロージャー優良企業(2025年度)において  
鉄鋼・非鉄金属部門で2年連続1位を獲得しました。

今後も、ステークホルダーの皆さまとの対話の機会や  
情報開示の質や量の充実と向上に積極的に取り組み、  
中長期の経営戦略、事業活動へのご理解を深めていただき、  
企業価値の向上に努めてまいります。

## 日本初\*<sup>1</sup>、グリーン新地金\*<sup>2</sup>100%のアルミ薄板をカタログ品として発売

### 環境配慮型製品「ALmitas+ SMART」として、脱炭素社会の実現に貢献

- ✓ マスバランス方式でグリーン新地金を100%適用したアルミ汎用薄板を、10月から販売開始
- ✓ 非化石エネルギーを発電源として、精錬時のGHG排出量を従来比半分以下\*<sup>3</sup>に低減
- ✓ 建築、半導体製造装置、輸送機器分野などの分野で採用を見込み、環境負荷低減に貢献
- ✓ 環境価値と供給安定性を両立し、顧客の脱炭素ニーズに対応

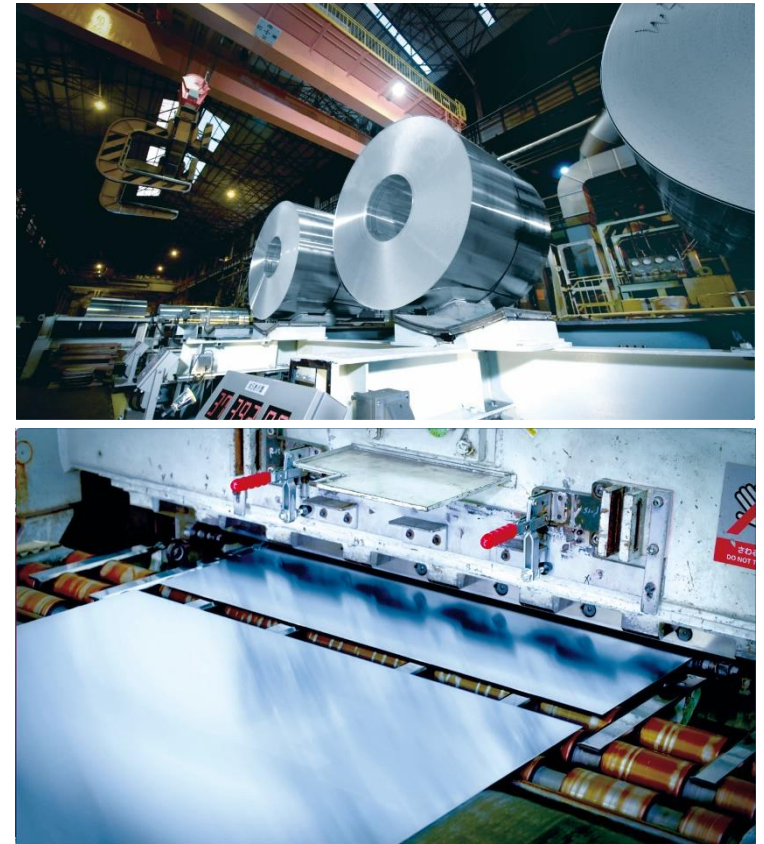
\*<sup>1</sup> 2025年8月当社調べ

\*<sup>2</sup> グリーン新地金：非化石エネルギーを発電源とした製錬により生産されるアルミ新地金

\*<sup>3</sup> 日本輸入平均（一般社団法人日本アルミニウム協会2022年発行レポートより）

ご参照-1) [日本初、グリーン新地金100%のアルミ汎用薄板を発売：グローバル アルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ](#) (2025年9月1日)

ご参照-2) [グリーンとリサイクルに関する用語、リサイクル率の計算方法例についての説明資料 日本アルミニウム協会](#) (2025年6月9日)



アルミ薄板製造のイメージ



## 人的資本経営の深化

### 多様な人材が活躍できる職場づくりを推進 ～「プラチナくるみん」の認定取得および共育プロジェクトの好事例企業として紹介～



働き方改革EXPOにおける「共育プロジェクト」の出展ブースの様子

- ✓ 男性育休取得率70%超、不妊治療支援制度を整備し、「プラチナくるみん」<sup>\*1</sup>の認定を取得
- ✓ 厚生労働省「共育プロジェクト」<sup>\*2</sup>において、男性の育児休業に積極的に取り組む好事例企業として紹介
- ✓ 福利厚生制度の活用・充実を通じて、より働きやすい職場環境を構築し、会社の持続可能な成長を目指す

<sup>\*1</sup> プラチナくるみん URL: [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/shokuba\\_kosodate/kurumin/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/shokuba_kosodate/kurumin/index.html)

<sup>\*2</sup> 厚生労働省「共育プロジェクト」 URL: <https://tomoiku.mhlw.go.jp/>

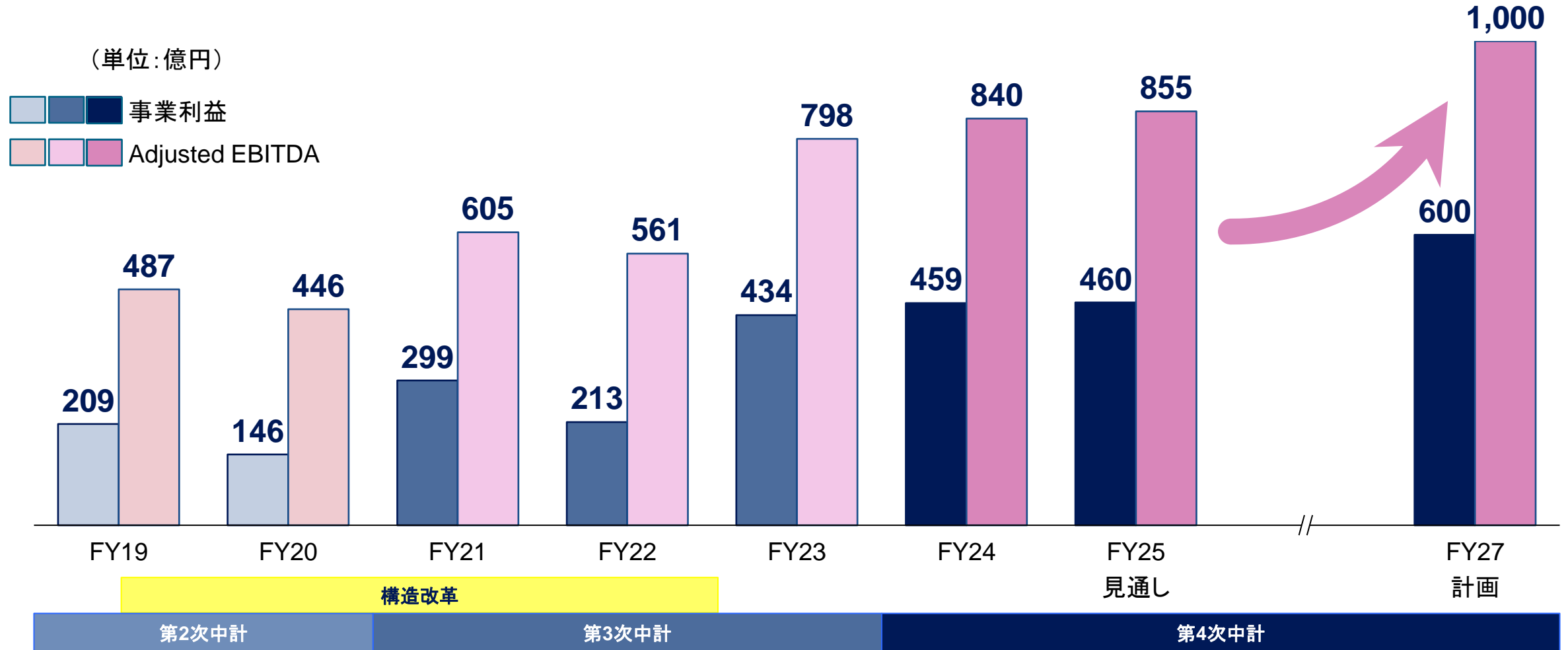
ご参照) 厚生労働省「共育(トモイク)プロジェクト」の好事例企業に: グローバル アルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ (2025年9月1日)

子育てサポート企業として厚生労働大臣より「プラチナくるみん」認定を取得: グローバル アルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ (2025年10月6日)



# 事業利益・Adjusted EBITDA 推移

第4次中期経営計画達成に向けて、順調に進捗。さらなる向上へ



# 今後のIRイベント

## サステナビリティ説明会@Zoom

2025年11月26日(水) 10:00~12:00

登壇者

代表取締役 社長執行役員  
執行役員 サステナビリティ推進本部長  
執行役員 ビジネスサポート本部長

田中 信二  
成田 緑  
浦吉 幸男

---

独立社外取締役  
独立社外取締役

永田 亮子  
赤羽 真紀子

## 航空宇宙・防衛材事業に関する事業説明会@Zoom

2025年12月22日(月) 14:30~15:30

登壇者

鍛鍛製作所 所長

吉田 晴高 他

## 4. ご参考

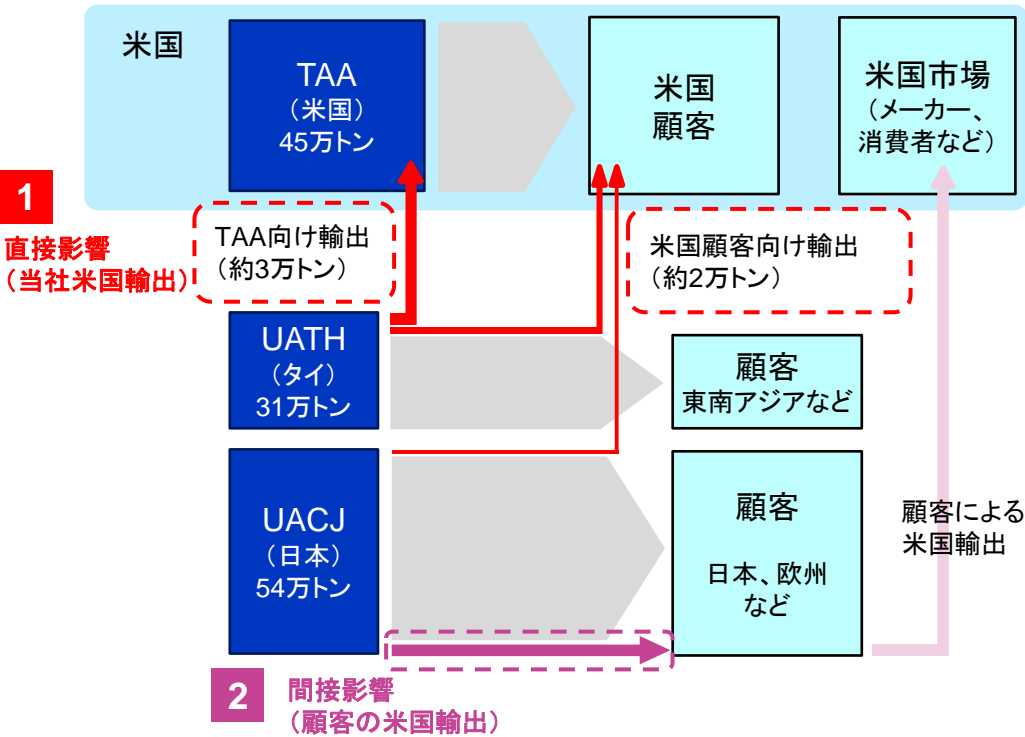


*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

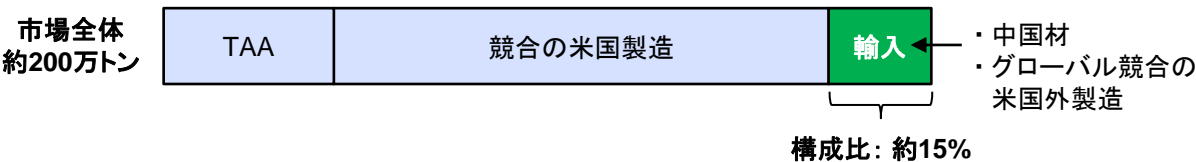
# アルミニウム製品を取り巻く米国追加関税とその影響

現段階では、グループ全体で大きな影響はないものと想定しているが、引き続き関税の動向を注視する

■ 板事業の販売構成 ※数値は2024年度販売数量



■ 米国缶材市場の構成 (2024年) ※UACJ推定



■ UACJグループへの影響

分野	UACJグループへの主な影響
1 直接影響	
缶材	● 25年は契約済みの販売量に大きな変動はない見込み ● 26年以降は、追加関税・適用除外制度の廃止を受け、タイからの販売が減少する可能性
自動車関連材	● 米国内競争の工場閉鎖を受け、日本・タイから輸出する自動車関連材の販売が増加する可能性
2 間接影響	
自動車関連材	● 日本、またメキシコ等から米国への輸出台数の減少により、自動車関連材の販売が減少する可能性
日本の顧客が米国へ輸出するアルミニウム部品	米国内に代替供給先がない製品が多いため、販売が短期間で減少する恐れは低い

■ 米国拠点 (TAA、UWH) への影響

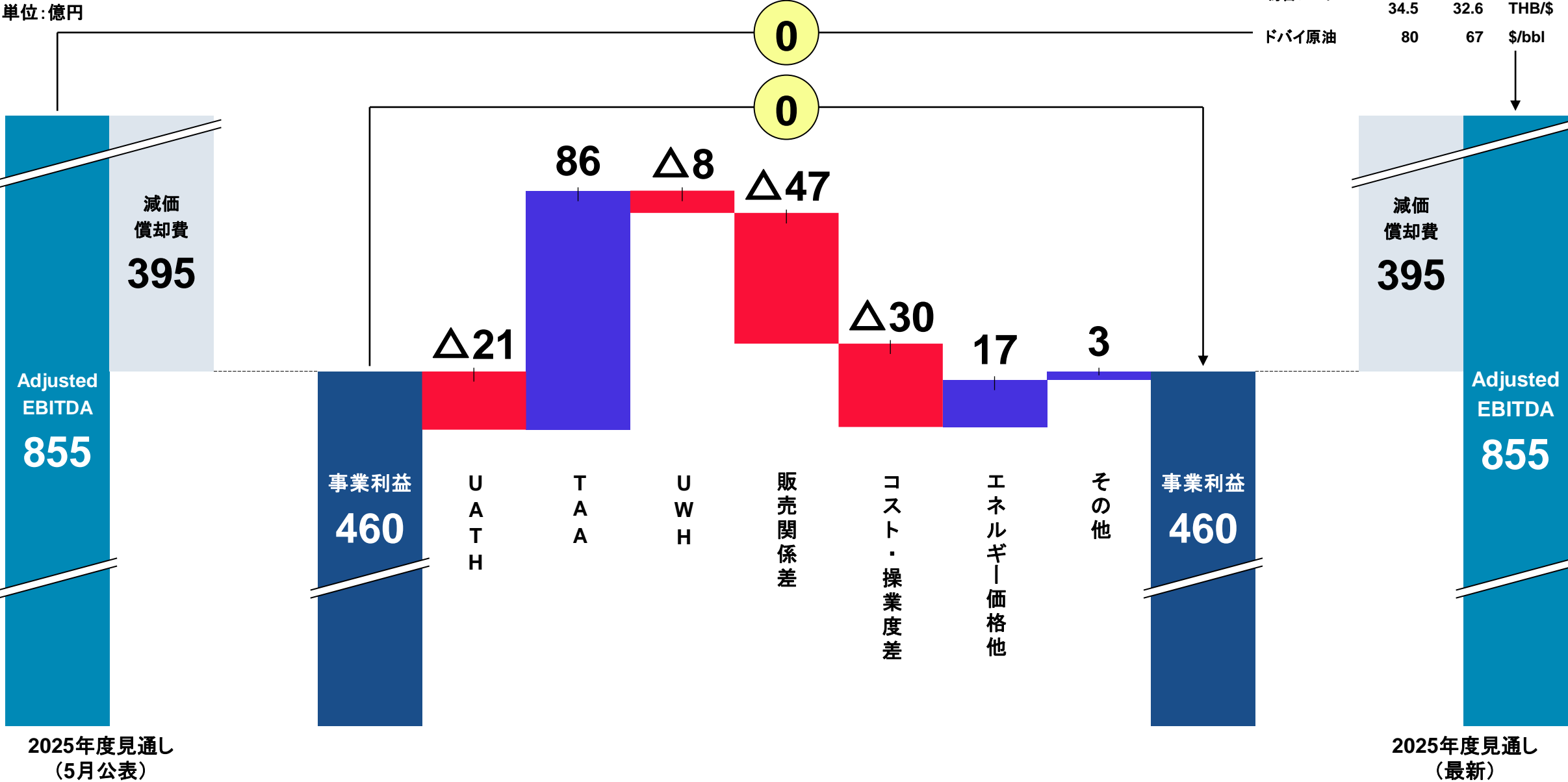
缶材	● 米国製缶メーカーの地産地消傾向がさらに強まる可能性
自動車関連材	● 米国OEMの米国製部品への切り替えにより、UWHへの部品引き合いが増加する可能性
原材料	● 新地金価格 (MWP*) は上昇 ● スクラップ価格は今後の動向を注視

緑色: ポジティブ影響  
黄色: ネガティブ影響

\*MWP ミッド・ウエスト・プレミアム

事業利益分析（2025年5月公表 → 2025年11月最新）

通期前提条件 (FY25(5月) → FY25最新)			
LME	2,500	2,666	\$/t
為替レート	145	148	円/\$
	34.5	32.6	THB/\$
ドバイ原油	80	67	\$/bbl



設備投資・減価償却費

2025年度は中計期間中で計画する設備投資を前倒して実施予定

		2024年度 実績	2025年度 見通し	2024～27年度 計画
(単位:億円)				
設備投資	一般投資	188	223	820
	戦略投資	231	322	780
	合計	419	545	1,600
減価償却費		381	395	1,600

4. ご参考

# 主要指標推移

	日 本 会 計 基 準			I F R S				(単位:億円)
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 上期	2025年度 (見通し)	
連結売上高	5,698	7,829	9,629	8,928	9,988	5,401	11,000	
連結営業利益	111	595	172	314	574	226	550	
事業利益	-	-	-	434	459	169	460	
棚卸資産影響前 連結経常利益	62	213	161	-	-	-	-	
連結経常利益	60	523	87	-	-	-	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△33	321	47	139	280	74	230	
設備投資 一般投資	109	129	210	217	188	77	223	
戦略投資	72	79	54	114	231	194	322	
合計	181	207	264	331	419	271	545	
減価償却費	334	340	373	364	381	193	395	
有利子負債残高	3,358	3,394	3,367	3,109	3,407	3,658	-	
ROE (%)	△1.8	15.6	1.9	5.3	9.9	-	7.6	
ROIC (%)	2.2	11.1	3	7.5	7.6	-	7.0	
D/Eレシオ(倍)	1.56	1.36	1.25	1.0	1.0	1.0	1.0	
営業キャッシュ・フロー	386	78	526	949	91	281	-	
投資キャッシュ・フロー	△ 210	△ 210	△ 269	△ 362	△ 369	△ 357	-	
フリーキャッシュ・フロー	177	△ 132	257	587	△ 278	△ 76	-	
株主資本(日本基準)	1,775	2,090	2,096	2,105	2,139	2,150	-	

海外主要子会社 業績推移

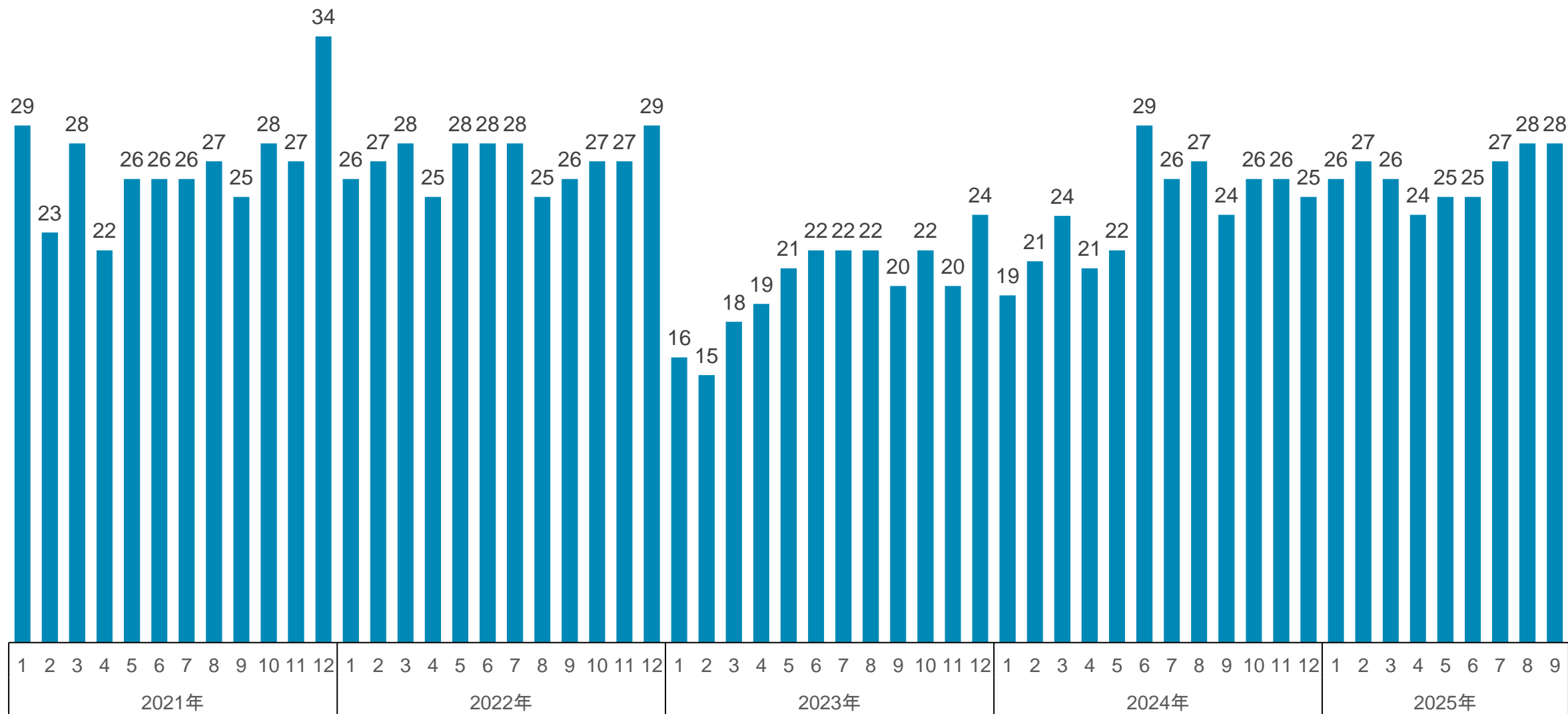
(単位:億円)

	2024年度							2025年度			
UATH	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	通期見通し
販売量(千トン)	72	77	149	78	79	157	306	74	83	157	328
売上収益	453	494	947	521	546	1,067	2,014	467	525	992	2,255
営業利益	52	7	59	△ 5	0	△ 5	54	△ 15	△ 5	△ 19	5
(棚卸資産影響)	33	△ 4	29	△ 11	2	△ 9	20	△ 15	△ 10	△ 25	△ 15
事業利益	19	11	30	6	△ 2	4	34	0	5	5	20
TAA	1Q	2Q	上期	Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	通期見通し
販売量(千トン)	109	118	227	106	116	222	449	128	122	250	497
売上収益	713	721	1,434	685	798	1,483	2,917	845	952	1,797	3,897
営業利益	107	75	181	73	74	147	328	66	126	192	399
(棚卸資産影響)	24	△ 2	22	21	36	57	79	16	73	89	125
事業利益	83	77	160	52	37	89	249	50	53	103	274
UWH	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	通期見通し
売上収益	101	93	195	84	96	180	375	94	100	194	385
営業利益	4	2	6	△ 2	5	3	9	△ 0	6	6	5
(棚卸資産影響)	△ 1	0	△ 2	0	△ 3	△ 3	△ 5	△ 1	△ 1	△ 2	△ 4
事業利益	5	3	8	△ 2	8	6	14	1	7	8	9



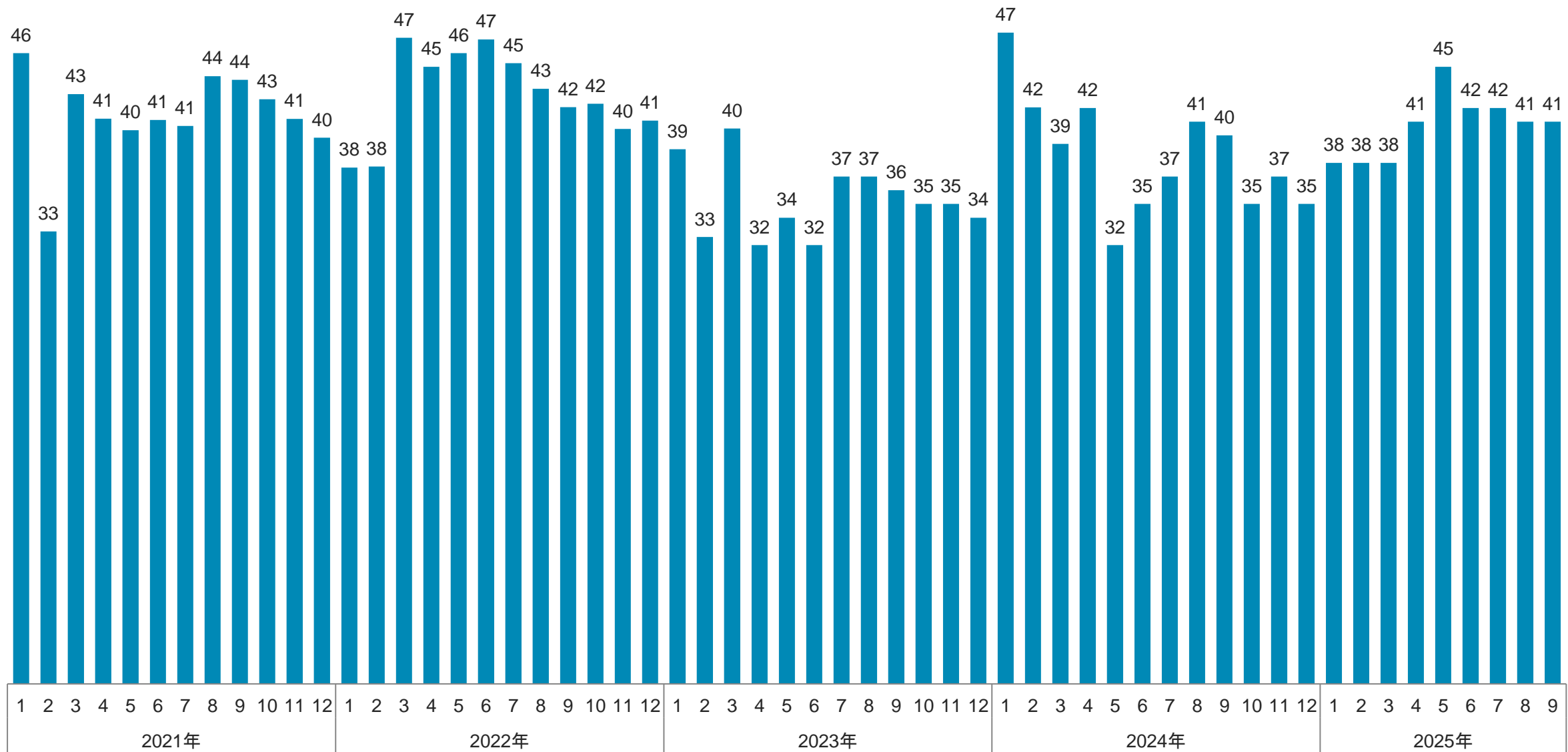
# UATH 月次販売数量推移

(単位：千t)



# TAA 月次販売量推移

(単位：千t)



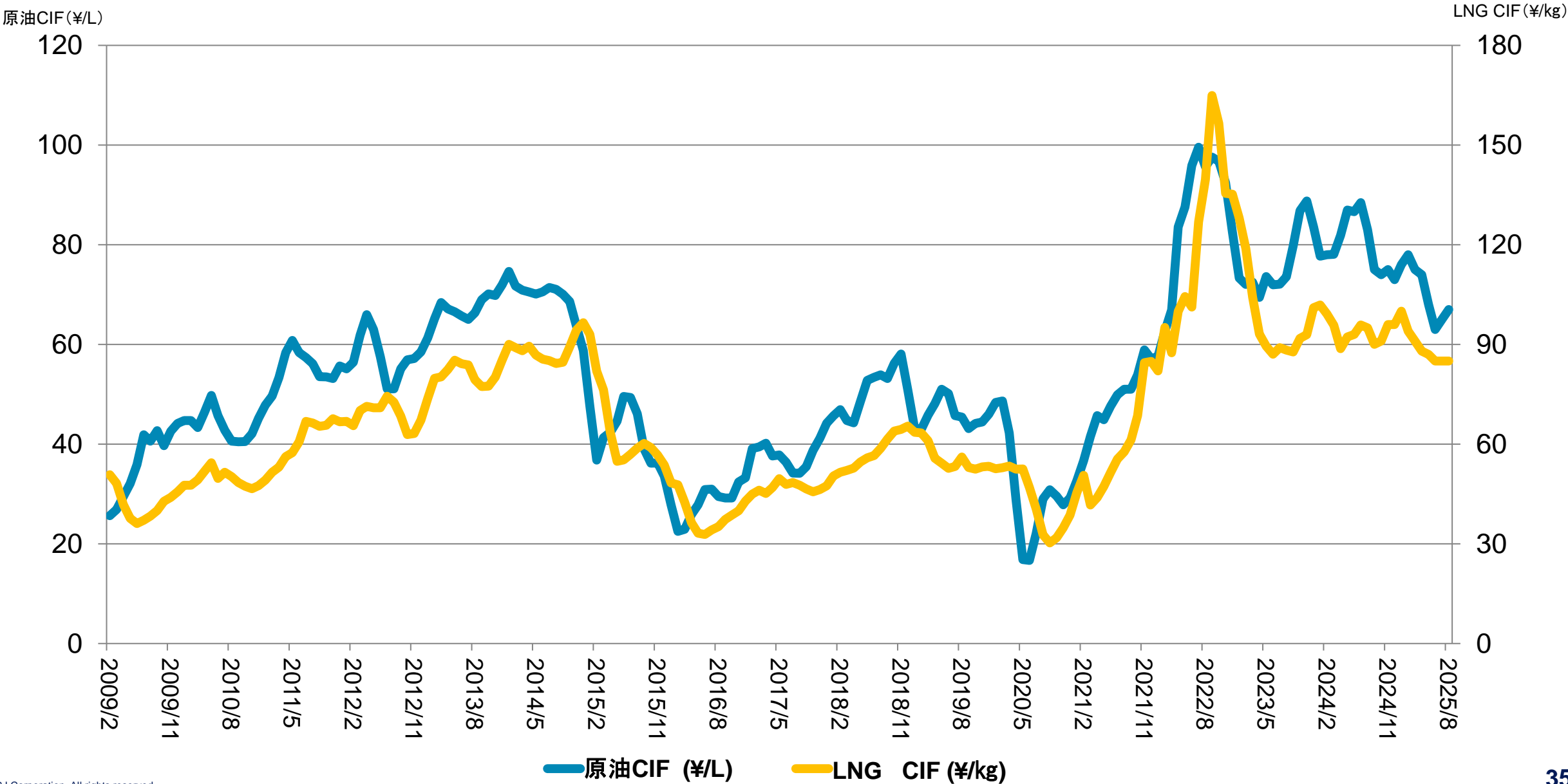
4. ご参考

諸元と感応度

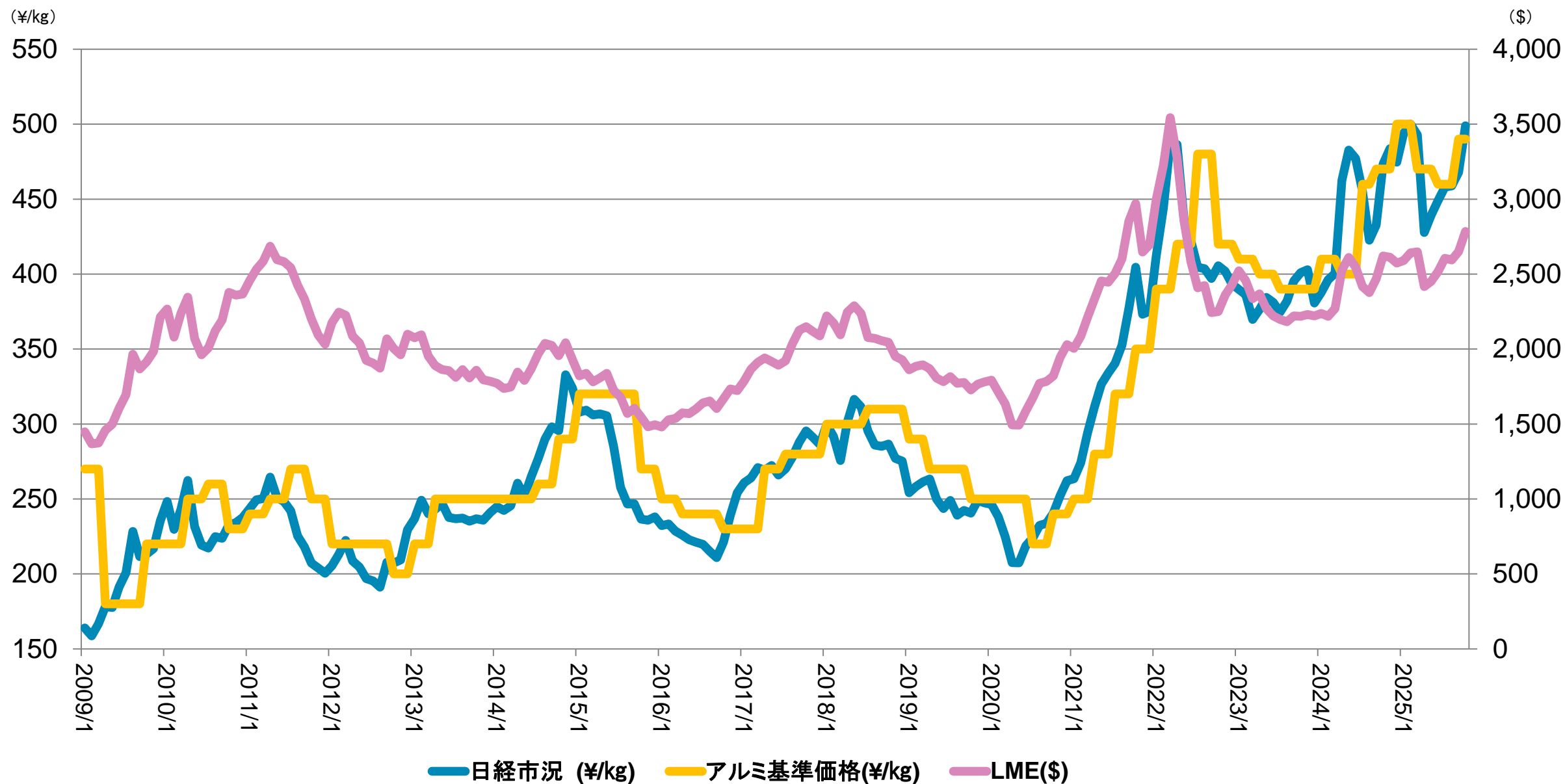
	2023年度 期中平均	2024年度 期中平均	2025年度 上期平均	営業利益への 感応度
LME (米\$)	2,202	2,526	2,532	\$100/t上昇した場合 → +22～35億円/年
為替 (円/米\$)	145	153	146	・燃料単価、添加金属：円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差：円安が有利
為替 (円/タイバーツ)	4.1	4.4	4.5	
為替 (タイバーツ/米\$)	35.2	34.9	32.7	・燃料単価、添加金属：THB高が有利 ・ロールマージン：THB安が有利
原油 (ドバイ：米\$)	82	78	69	10ドル上昇した場合 → △10～15億円/年

4. ご参考

# 燃料単価推移



## アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



# お客様に選ばれ続けるUACJであるために — ASI認証の取得

## ASI(Aluminium Stewardship Initiative)

アルミニウムのサプライチェーン全体におけるサステナビリティの取り組みの向上や、ESG観点からの社会貢献を最大化することを目的とする国際イニシアチブ。

国際アルミニウム協会をはじめ、アルミニウムの生産者、加工メーカー、エンドユーザーなど様々な立場でアルミニウムに関わる企業が参画し、2012年に発足。

2018年度には監査・第三者認証の運用も開始。現在世界360以上の企業・組織が加盟

福井製造所および UATHラヨン製造所で、  
ASIが発行する2つの認証を取得

UACJにとってのASI加盟の意義



ASIでの保証を裏付けに  
製品を出荷

サステナブルな製品で  
最終消費者の期待を実現



環境・社会・ガバナンス面で  
高い基準を満たす製品を要求

”サステナブル”な  
商品へのリクエスト

業界のリーディングカンパニーとして  
認証取得と更新を行う。  
グローバルなルール作りの場に参画していく

海外の飲料缶大手を中心にASI取得が  
取引条件に設定される事例が増えている。  
今後、欧州圏から他地域への拡大、他分野  
への拡大が予想される。

# 棚卸資産影響

## アルミ圧延事業における棚卸資産影響

### ① 平均法による材料費計算

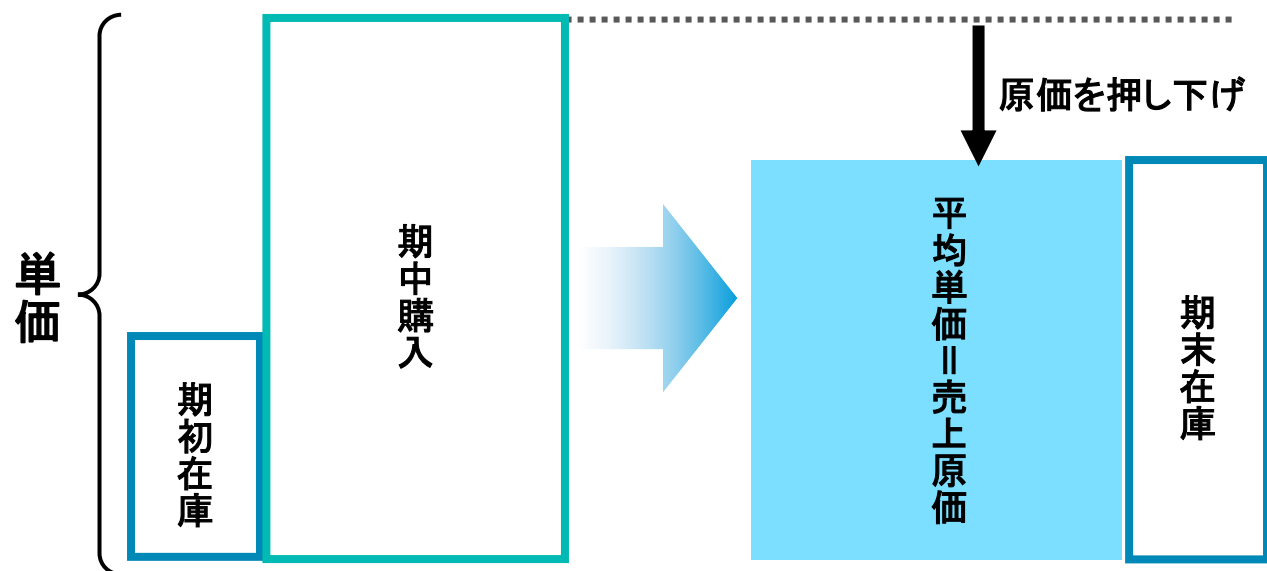
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算（期首在庫が影響）

### ② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

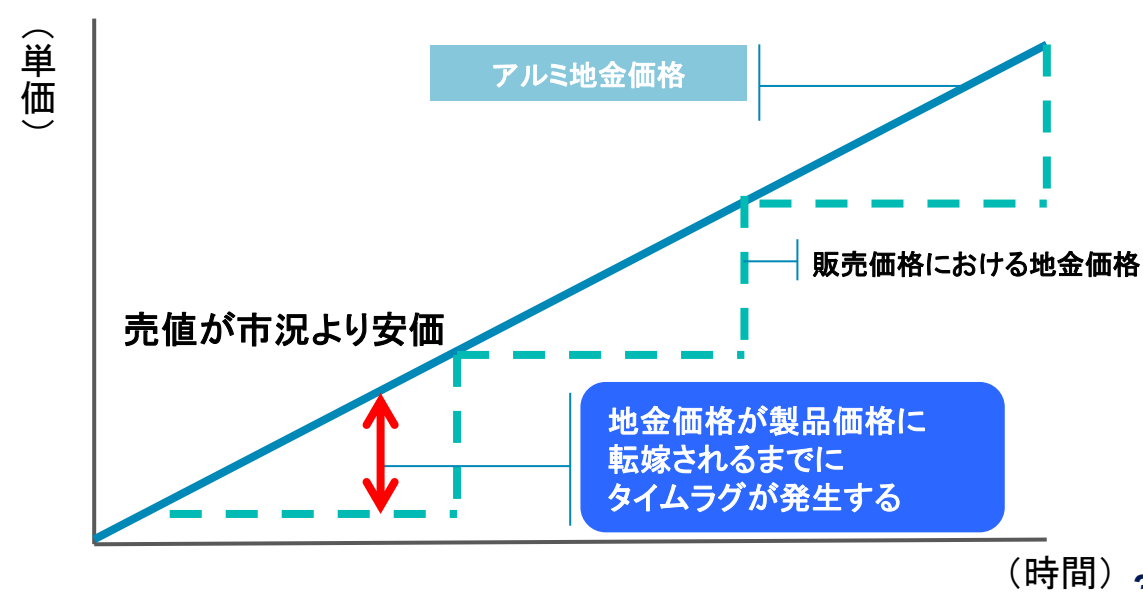
① + ② = 棚卸資産影響

### 【アルミ地金価格上昇】

#### ① 平均法による材料費計算



#### ② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



# UACJグループが目指す軽やかな世界

## UACJグループ理念



### 企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

### 目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

### 価値観(バリュー)

### 行動指針「UACJウェイ」

#### 相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし、貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

#### 誠実さと未来志向

- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

#### 好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

## 行動指針「UACJウェイ」





# 企業理念とサステナビリティ基本方針

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業

事業を通じて  
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を  
未来に継承するために



## 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。  
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。  
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる  
この特徴は、アルミニウムならではの。  
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を  
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、  
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に  
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い  
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、  
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、  
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。  
未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。  
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上収益及び利益等の計画や見通しのうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上収益及び利益等と、この資料に記載されております計画や見通しとは、今後さまざまな要因により大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

[uacj\\_ir@ml.uacj.co.jp](mailto:uacj_ir@ml.uacj.co.jp)

<http://www.uacj.co.jp>

( 東証プライム 証券コード : 5741 )



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

